

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社ヴィダックス			
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号			
業種	不動産業			
常用労働者数	20人			
事業内容	不動産の売買、あっせん、賃貸、管理及び仲介業務 他			
ホームページ	https://www.vidax-gotanda.jp/			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年9月12日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送付）			
③回収率	対象者（都内全従業員）20名のうち回収数18名 回収率90%（回収数／対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について アンケート調査により「介護を経験したことがある」従業員は1名（6%）で、「現在は介護をしていない」という回答であった。</li> <li>・今後の従業員の介護見込みについて 今後の介護の可能性については、「介護する可能性がある」従業員は44%、「介護することはない」が56%となった。</li> <li>・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する社内制度の認知状況については、「制度があるかどうか知らない」は50%、「制度はない」が50%と、全員が認知できていない状況である。</li> <li>・介護と仕事の両立に関する不安について 「介護することに対して不安を感じている」従業員は88%であり、介護をしながら現在の職場で働き続けられることができるかという質問に対しては、「続けられると思う」13%、「続けられないと思う」38%、「わからない」50%となっている。</li> <li>・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 望ましい働き方として、「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、介護と仕事を両立する。」という回答が61%、「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」が11%であったが、一方「今の仕事を辞めて介護に専念する」が6%、「仕事の仕方を特に変えない」が22%という回答を得た。</li> </ul>			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年9月15日			
②メンバー	総計2名（うち都内勤務の従業員1名） （メンバー内訳）役員、従業員			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	9月15日	13:30～14:00	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	9月20日	13:30～14:00	調査結果概要説明、目標案の掲示	2名
	9月22日	13:30～14:00	目標について意見交換、目標確定	2名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年10月～ 従業員の介護休業ニーズについて定期的な面談等を通じて把握する 令和4年11月～ 介護休業制度だけでなく、公的介護保険制度や支援制度について、介護が必要になったときに備えるように研修を実施する				